



平成26年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年4月1日  
上場取引所 東

上場会社名 日本ファイルコン株式会社  
コード番号 5942

URL <http://www.filcon.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理・経営企画管掌  
兼管理本部長  
兼経営企画室長

(氏名) 名倉 宏之  
(氏名) 齋藤 芳治

(TEL) 042-377-5711

四半期報告書提出予定日 平成26年4月8日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年11月期第1四半期の連結業績(平成25年12月1日～平成26年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年11月期第1四半期	5,418	5.3	103	△49.0	133	△62.7	96	△61.4
25年11月期第1四半期	5,147	2.6	202	—	358	—	249	—

(注) 包括利益 26年11月期第1四半期 368百万円(△64.8%) 25年11月期第1四半期 1,044百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年11月期第1四半期	4.35	—
25年11月期第1四半期	11.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年11月期第1四半期	31,153	13,873	43.7
25年11月期	32,082	13,637	41.8

(参考) 自己資本 26年11月期第1四半期 13,620百万円 25年11月期 13,408百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年11月期	—	0.00	—	6.00	6.00
26年11月期	—	—	—	—	—
26年11月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年11月期の連結業績予想(平成25年12月1日～平成26年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	11,500	1.8	350	△21.5	400	△47.4	300	△42.5	13.55
通期	23,300	1.3	800	△8.0	900	△28.6	800	△29.5	36.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名)、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年11月期1Q	22,167,211株	25年11月期	22,167,211株
26年11月期1Q	35,192株	25年11月期	35,092株
26年11月期1Q	22,132,044株	25年11月期1Q	22,132,244株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策や金融緩和策により、輸出企業を中心とした企業業績の改善がみられるなど国内景気はゆるやかな回復基調で推移しましたが、消費税率引き上げに伴う消費低迷への懸念や、欧米諸国の財政問題や新興国経済の減速といった海外経済の不安要素もあり、先行き不透明な状況が継続しております。

当社グループの主要取引先である国内紙・パルプ業界は、生産量は増加傾向にありますが、原燃料価格の上昇など厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、国内およびアジア地域を中心とした拡販活動に注力するとともに、厳しい環境下での収益確保を目的として、生産・販売・サービス体制の強化を継続して実施するとともに、平成26年2月25日付で、社内カンパニー制を採用し、各事業が一定の責任と権限のもとで事業特性に応じた施策をよりタイムリーに意思決定できる組織体制へ移行いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における業績は、売上高5,418百万円（前年同期比5.3%増）、営業利益は、売上原価率が前年同期に比べ0.5ポイント増加し、販売費及び一般管理費が165百万円増加したことにより103百万円（前年同期比49.0%減）となりました。経常利益は、為替差益が前年同期に比べ117百万円減少したこと等により133百万円（前年同期比62.7%減）、四半期純利益は96百万円（前年同期比61.4%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## ①産業用機能フィルター・コンベア事業

製紙製品分野では、主要顧客である国内紙・パルプ業界は、生産量に若干の改善はみられるものの、国内需要は依然として低迷しており、円安による原燃料価格の上昇もあり、厳しい状況で推移いたしました。このなかで当社グループでは、高付加価値製品等を提案することなどにより、国内市場におけるシェア確保に努めるとともに、不織布製造用網を含めアジアを中心とする海外市場において積極的な拡販活動を展開してまいりました。この結果、国内売上高は需要の低迷により減少いたしました。海外販売数量の増加と円安の影響により、当分野の売上高は増加いたしました。

その他の産業分野では、国内において食品業界向けおよび一部の不織布メーカー向けコンベアが堅調に推移しましたが、全般的には比較的低調に終わりました。一方、海外の石油採油用スクリーンと防蟻施工事業が好調で、当分野は総じて堅調に推移しました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は3,977百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は264百万円（前年同期比30.6%減）となりました。

## ②電子部材・マスク事業

エッチング加工製品分野では、医療機器向け製品等、当社の加工特性を活かした製品と微細加工技術の向上による高付加価値製品の開発、受注に注力いたしました。また、得意分野とする大型・中型タッチパネル製品の拡販活動と量産に向けた試作を実施いたしました。

マスク製品分野では、低迷する国内半導体産業の再編・集約が進む等厳しい状況で推移したなか、当社グループでは、得意分野とするパワー半導体向けや、MEMS関連等の非半導体分野を含め積極的な拡販活動を展開いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は885百万円（前年同期比1.4%増）、営業損失は55百万円（前年同期営業損失40百万円）となりました。

## ③環境・水処理関連事業

水処理製品分野では、公共投資の増加等、市場はゆるやかな回復傾向にあり、期首に子会社アクアプロダクトにおいて事業統合効果を最大限に発揮すべく組織を改編し、幅広い提案力をもってプール本体および濾過装置と、工業用クロフタ排水処理装置の受注活動を積極的に展開するとともに、販路の拡大、新製品の開発活動に注力いたしました。

その他の分野では、震災からの港湾復旧や放射性廃棄物保管容器に使用される高比重コンクリート「Gコン」に加えて、車輛連結器・絶縁継手といった製品の受注活動を積極的に行いました。

結果、当セグメントに属する株式会社アクアプロダクトが前期に決算期の変更を行ったことや事業統合の影響もあり、当セグメントの外部顧客への売上高は304百万円（前年同期比39.8%増）、営業損失は17百万円（前年同期営業損失17百万円）となりました。

## ④不動産賃貸事業

不動産賃貸事業では、既存の賃貸物件が稼働するとともに、前期に完成し賃貸を開始した大阪市淀川区の賃貸マンションの賃料収入の増加により、売上高及び営業利益は前年同期に比べて増加いたしました。

結果、当セグメントの外部顧客への売上高は250百万円（前年同期比4.3%増）、営業利益は178百万円（前年同期比4.3%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## 財政状態の分析

流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,037百万円減少し、14,010百万円となりました。これは主として、現金及び預金が679百万円、受取手形及び売掛金が671百万円それぞれ減少し、仕掛品が198百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ107百万円増加し、17,142百万円となりました。これは主として、投資有価証券が133百万円増加したことによるものであります。

この結果、資産合計は、前連結会計年度末に比べ929百万円減少し、31,153百万円となりました。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ989百万円減少し、9,591百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金が212百万円、短期借入金が172百万円、1年内返済予定の長期借入金が421百万円それぞれ減少したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ175百万円減少し、7,688百万円となりました。これは主として、長期借入金が108百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,165百万円減少し、17,279百万円となりました。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ235百万円増加し、13,873百万円となりました。これは主として、為替換算調整勘定が207百万円増加したことによるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年11月期の業績予想につきましては、平成26年1月10日公表の業績予想から変更しておりません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,027,412	2,347,651
受取手形及び売掛金	6,561,966	5,890,824
商品及び製品	2,904,339	2,913,530
仕掛品	843,233	1,041,864
原材料及び貯蔵品	1,100,901	1,170,698
その他	697,524	738,351
貸倒引当金	△88,302	△92,853
流動資産合計	15,047,075	14,010,067
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,123,710	5,099,324
機械装置及び運搬具(純額)	3,191,871	3,173,924
土地	3,656,126	3,664,791
その他(純額)	321,308	325,300
有形固定資産合計	12,293,016	12,263,340
無形固定資産		
のれん	868,091	856,851
その他	234,153	261,872
無形固定資産合計	1,102,244	1,118,723
投資その他の資産		
投資有価証券	2,274,690	2,408,613
リース投資資産	501,252	496,573
その他	880,311	867,347
貸倒引当金	△15,896	△11,656
投資その他の資産合計	3,640,358	3,760,877
固定資産合計	17,035,619	17,142,942
資産合計	32,082,695	31,153,009

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,179,294	2,966,923
短期借入金	3,202,606	3,029,836
1年内返済予定の長期借入金	2,007,685	1,586,573
未払法人税等	116,651	41,463
賞与引当金	53,496	273,135
役員賞与引当金	19,000	1,065
その他	2,002,715	1,692,818
流動負債合計	10,581,450	9,591,815
固定負債		
長期借入金	4,184,345	4,075,979
退職給付引当金	496,625	480,189
役員退職慰労引当金	330,663	262,343
長期預り敷金保証金	1,791,190	1,750,056
資産除去債務	108,788	108,864
その他	951,863	1,010,584
固定負債合計	7,863,478	7,688,018
負債合計	18,444,929	17,279,833
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,685,582	2,685,582
資本剰余金	1,912,324	1,912,324
利益剰余金	8,729,540	8,692,914
自己株式	△28,115	△28,160
株主資本合計	13,299,331	13,262,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	215,572	257,104
為替換算調整勘定	△106,506	101,170
その他の包括利益累計額合計	109,066	358,275
少数株主持分	229,368	252,240
純資産合計	13,637,766	13,873,176
負債純資産合計	32,082,695	31,153,009



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
売上高	5,147,595	5,418,355
売上原価	3,350,423	3,554,840
売上総利益	1,797,172	1,863,515
販売費及び一般管理費	1,594,619	1,760,208
営業利益	202,552	103,306
営業外収益		
受取利息	402	567
受取配当金	10,808	18,267
為替差益	121,999	4,822
持分法による投資利益	40,179	30,387
その他	31,769	18,557
営業外収益合計	205,158	72,603
営業外費用		
支払利息	37,221	28,151
その他	12,337	14,192
営業外費用合計	49,559	42,343
経常利益	358,151	133,566
税金等調整前四半期純利益	358,151	133,566
法人税等	106,282	29,746
少数株主損益調整前四半期純利益	251,869	103,820
少数株主利益	2,728	7,653
四半期純利益	249,141	96,166

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年12月1日 至平成25年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	251,869	103,820
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	211,673	41,531
為替換算調整勘定	529,705	184,321
持分法適用会社に対する持分相当額	51,416	38,573
その他の包括利益合計	792,794	264,426
四半期包括利益	1,044,664	368,247
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,021,522	345,375
少数株主に係る四半期包括利益	23,141	22,871

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自 平成24年12月1日 至 平成25年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,815,820	873,713	217,551	240,510	5,147,595	—	5,147,595
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,629	—	—	—	1,629	△1,629	—
計	3,817,449	873,713	217,551	240,510	5,149,224	△1,629	5,147,595
セグメント利益 又は損失(△)	381,732	△40,348	△17,046	171,160	495,498	△292,945	202,552

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△292,945千円は、内部取引にかかわる調整額△1,629千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△291,316千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 平成25年12月1日 至 平成26年2月28日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	産業用機能 フィルター・ コンベア事業	電子部材・ マスク事業	環境・水処理 関連事業	不動産賃貸 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,977,737	885,574	304,227	250,816	5,418,355	—	5,418,355
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,625	—	100	—	4,725	△4,725	—
計	3,982,362	885,574	304,327	250,816	5,423,080	△4,725	5,418,355
セグメント利益 又は損失(△)	264,868	△55,598	△17,139	178,446	370,575	△267,268	103,306

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額 △267,268千円は、内部取引にかかわる調整額715千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△267,984千円であります。全社費用は、当社の本社部門等にかかる費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。